

# 開催にあたって

今回より、「先進インスリン療法研究会」から「先進糖尿病治療研究会」と改名となりました。糖尿病に関する新しい知見や治療技術の進歩はめざましいものがあります。色々な薬効を持った経口糖尿病薬、高機能な血糖測定器、様々なインスリン製剤、インスリンポンプの進歩、カーボカウントの普及など話題に事欠きません。最近では持続血糖モニター（CGMS）の発売が認可されました。まもなくインクレチン関連の治療薬が発売されます。このような進歩に遅れることなく最善の治療を診療に取り入れることは我々の重要な使命であると考えます。そこで第9回先進糖尿病治療研究会のテーマは、「様々な先進的糖尿病治療の試み」とさせていただきました。日常診療の中で工夫され、そして取り入れられている先進的な治療をご紹介いただき活発な議論ができればと思っております。

今回は教育講演といたしまして、1型糖尿病の自己免疫学的発症機序の最新知見と治療・予防への可能性について、この分野の第1人者でおられる神戸大学の永田正男先生をお願いいたしました。

また、糖尿病治療進歩の流れを個々の患者さんの治療に如何に反映すればよいのかという展望を兵庫医科大学の難波光義先生にランチオンセミナーとして御解説していただきます。さらに特別講演では、カナダ・トロント大学のDr. Ian R. Blumerにわが国で使用されているものより次世代のインスリンポンプやCGMを用いたインスリン治療がどのように行われているのか、今後どのような方向へ向かおうとしているのかを紹介していただく予定です。

一般演題も多彩な内容を応募していただきました。この先進糖尿病治療研究会は、糖尿病専門医だけではなく、非専門医、コメディカル、そして患者さんにもご参加いただけます。できるだけ最新の知見を共有することで、最適な治療方法について議論できる場になればと願っております。

第9回日本先進糖尿病治療研究会  
当番世話人



大阪市立大学大学院  
医学研究科発達小児医学教室  
川村 智行